

食事の満足度の向上

Increased meal satisfaction

川松 菜花¹⁾

指導教員 谷上 欣也¹⁾,

1) サレジオ工業高等工業専門学校 デザイン学科 プロダクトデザイン研究室

キーワード：食事、満足度、命の大切さ、意識、丁寧

1. 研究目的

新型コロナウイルスの世界的な流行により我々の生活は大きく変化した。食事も例外ではない。外食が減り、家で食事を摂る人が増えた。これにより食事に対する満足度はさがり、食事自体を面倒だと思う人も増えたと言われている。食事、栄養を補うだけのものとして扱っていいのか、食事を楽しみ満足することが豊かな生活をおくるうえで大切なことではないのか。生きていくうえで欠かせない食事の満足度を上げることで、生活をより豊かにすることができるのではないかと考え、丁寧な食事を促す製品を提案する。

2. 調査内容

農林水産省の食育に関する意識調査のうち、新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化を表したグラフでは自炊の増加に伴い、食事に携わる時間や労力が増加したことが分かっている。食事を作る時間や片付ける時間は増えたものの、食事を摂る時間は減っているのが現状である。

食事環境を調査する為に本校の学生、教職員の80人にアンケートを実施した。その結果、食事の満足度が高いと回答した人には共通点があることが分かった。その共通点とは、食器は自分の箸を使うなど自分のものという意識のあるものを使うことだわりと、料理を残さず食べることや、味わって食べるなどという丁寧さがあることが分かった。一方で食事にはこだわりがなく、満足度が低い人も一定数いることが分かった。その人達にも、こだわりと丁寧さが加われば、満足度が上がるのではないかと考えた。

日本財団は海と日本プロジェクトの一環として「陸養プロジェクト」という、漁業や海で起きている問題について学び、海の恵みと命の大切さを考える取り組みをしている。小学生たちが稚魚から育ててきた魚を「食べるのか」「食べないのか」子供達自身で議論をして、命の大切さを学ぶプロジェクトがある。これに参加した小学生からは話し合いの結果食べることになったヒラメに対していつも以上の重みを感じて「いつもより感謝をしながら食べることができた」という声も聞かれ、命について考えるきっかけになっている。この経験は食事を残さずに丁寧に食べることに繋がるのではないかと思いました。

3. コンセプト

コンセプトは「食事の質を高める」である。丁寧さを食事に取り入れるには、食べ物に感謝し、残さず食べることが必要だと考えた。そして、こだわりを取り入れるには、食器など「自分のもの」の意識を持てる者が最適であると考えた。

4. アイデア展開

現在考えているのは「命を大切に！学んで食べようお食事セット」である。セットの内容としては、命の大切さを学べる冊子と「自分のもの」という意識の持てる品を考えている。

「自分のもの」という意識を持ってもらう為にはどうしたらいいのか検討し、アイデアを展開していく。

一つ目は,焼き物の食器である。土の色や釉薬、物の形や大きさを選んでもらうセミオーダーメイド方式を検討している。焼き物の特性として全く同じものは作れない唯一無二なところに魅力を感じてもらえると考える。(図 1)



図 1. 焼き物の食器

二つ目は,錫の板と芋槌のセットである。錫の板は,始めは手で曲げられるくらい柔らかい。芋槌を使って叩いていくうちにどんどん固くなる特性を持っている。自分で好きな形のお皿を完成させることができるので,愛着が沸くのではと考えている。そして,形に飽きが来たら叩いて変えることも出来るので,長く大切にして貰えるのではないかと考えている。(図 2)

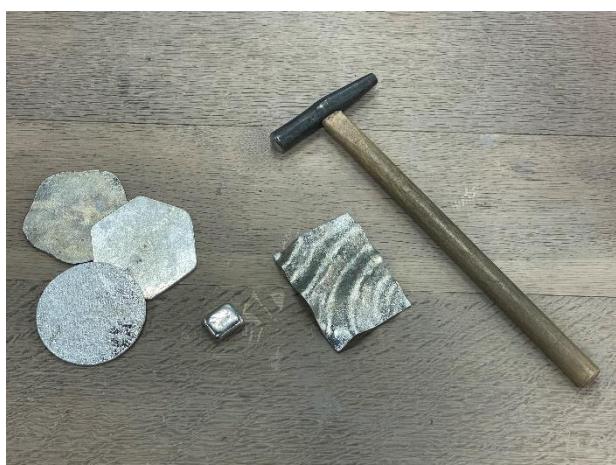


図 2. 錫の板と芋槌のセット

三つ目は,ある程度形作られた木と仕上げ用のやすりのセットである。木の色,フォークや平皿など何を作るのかを決めて注文し,届いた木を自分でやすりをして仕上げる方式だ。手間を掛けてカトラリー,もしくはお皿を作るため愛着が沸くのではと考えている。(図 3)



図 3. 木のカトラリー

5. 参考文献

農林水産省:令和二年「食育に関する意識調査」
<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/210331.html> 閲覧日 2022,05,22

ABEMATIMES:食べることをやめたサラリーマンを支える「完全食」とは
<https://times.abema.tv/articles/-/7008565> 閲覧日 2022,05,22

COMP:「完全食」をコンセプトとしたトータルバランスモデルの食品
<https://www.comp.jp/products/powder.html> 閲覧日 2022,05,22

日本財団 海と日本 PROJECT:学校に海がやってきた

<https://rikuyou.uminohi.jp> 閲覧日 2022,08,01

JJJI.COM:海と日本 PUROJECTについて
<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000799.000077920&g=prt> 閲覧日 2022,08,01